

「“なりたい”を諦めない」

大東消防署消防課 救助隊
消防士 川上 豪（平成26年入職）

「消防士を目指すきっかけ」

きっかけは高校一年時。将来を特に考えていなかった私は、当時所属していた野球部の先輩方の「消防合格」という報告を受けたのがきっかけでした。昔から「体を動かす仕事がしたい」と考えていた私は消防という職業に惹かれていきました。

その頃、東日本大震災が発災し、毎日、過酷な現場で救助活動する消防士の姿がありました。現場の最前線で働くその姿はかっこよく、人のために働くこの仕事に大きな感銘を受け、「私もいつか消防士になり人を助けてみたい」という思いが強くなり、消防士になることを決意しました。



「最高の職場環境」

配属されてから思うことは、本当に恵まれた職場環境であるということです。消防とは縦社会で厳しいイメージがありますが、当消防本部は、上司や先輩方が若手職員の意見や悩み事に積極的に耳を傾けてくださるなど、新人職員でも非常に働きやすい環境です。また、職員数は約200名と決して大きくはない消防本部ですが、だからこそ「顔の見える関係」が築けており、たくさんの職員とコミュニケーションがとれる他、職員の希望の配属先、この先挑戦してみたいことなどと、声が届きやすい環境は大きなメリットです。

最高の職場環境。これが大東四條畷消防本部の1番の魅力だと私は思います。



「倍率に負けない強い気持ちで」

私は受験時、採用試験になかなか合格できず、高い倍率を目の前に、辛く苦しい思いをしました。しかし今現在、消防士という夢を叶え働いているのは、なりたい気持ちを諦めず挑戦し続けたからだと思っています。

受験生のみなさんは今、当時の私と同じく不安と葛藤している人はたくさんおられると思います。体力、知力も大切ですが、一番は消防士になりたいという熱い気持ち。それを他の受験生よりもアピールしてください。この競争倍率に打ち勝つ強い気持ちを持った人は、今後の苦しい訓練や過酷な災害現場を乗り越えることができます。

合格し、大東四條畷消防本部の仲間として一緒に働ける日を楽しみにしております。

